

特 集

各種機資材が軽労化に寄与

農作業現場で使用されている数多くの機械・資材は、いかに農家がラクに効率良く作業できるかというところが念頭に置かれ開発されている。近年ではそれに加え地球環境に優しいこともトレンドになっている。農業機械・資材分野においても技術開発は日進月歩で、様々な新製品開発が行なわれている。ここでは農作業軽労化の観点から、近年目立つ技術に着目してみたい。

より軽く、使いやすく

環境性向上製品も増加

農家の高齢化という言役立つ機械や資材類は欠を守る立場が多かった女葉が様々な場所でも聞かれかせなくなっている。高性も様々な場面でも活躍する中で、作業の省力化に齢化と共に、かつては家るようになっていく。

軽労化に寄与、環境性の高い資材

生分解性マルチフィルム

茨城県結城市 浜野公男さん



生分解性マルチフィルムは増える
浜野公男さん

手間や処理法が農業生産者に大きな負担となっている。ここに登場したのが微生物などの作用によって早く分解されば場から



リーフレタスに使われている生分解性マルチフィルム



トウモロコシへの生分解マルチ導入が進んでいる

「うちで使っているマルチはみんな生分解性フィルムだ。これからは増えるのではないかと語るのは茨城県結城市の野菜生産者、浜野公男さんだ。生分解性フィルムは価格の問題もあって普及は難しいのではないかと指摘する向きもあるが、処理の手間とマなどを考えると十分に合うものとなる。回収の手間や処理法が農業生産者に大きな負担となっている。ここに登場したのが微生物などの作用によって早く分解されば場から

「増えるだろう。この地区でも使っている人はまだ半分だけど、残りの半分の人でも生分解性フィルムを使うようになるだろう」という。浜野さんの機械格納庫には昨年12月に導入した130馬力のトラクタがあった。息子が就農して2年が経過した。これからの経営規模をさらに広げたいと考えている。そのため投資を行っている。全国では耕作放棄地が増加しているが、浜野さんの地区では荒れた農地がない。「空いた農地があればすぐに借りてしまおうよ。早い者勝ちだ」という。これからの農業を担うのは浜野さんのような人たちだ。その浜野さんが選んでいる生分解性マルチフィルムが、明らかに増えることは確実である。

「増えるだろう。この地区でも使っている人はまだ半分だけど、残りの半分の人でも生分解性フィルムを使うようになるだろう」という。浜野さんの機械格納庫には昨年12月に導入した130馬力のトラクタがあった。息子が就農して2年が経過した。これからの経営規模をさらに広げたいと考えている。そのため投資を行っている。全国では耕作放棄地が増加しているが、浜野さんの地区では荒れた農地がない。「空いた農地があればすぐに借りてしまおうよ。早い者勝ちだ」という。これからの農業を担うのは浜野さんのような人たちだ。その浜野さんが選んでいる生分解性マルチフィルムが、明らかに増えることは確実である。

【農業用生分解性資材普及セミナー】普及が最も進んでいる生分解性マルチフィルムの利用促進を中心に活動する農業用生分解性資材普及会（略称・A B A）では「農業用生分解性資材普及会（略称・A B A）」を3月2日、東京都江戸川区のタワーホール船堀で開催する。環境性に優れ、マルチ剥ぎなどの重労働から解放される資材として脚光を浴びる生分解性資材の全てが分かるセミナーとして、大きな期待を集めている。セミナーの詳細については、農業用生分解性資材普及会事務局（☎03（33233）3633・e-mail：mailto:aba-seiunkai.com・URL：http://www.aba-seiunkai.com/）を

れば良いが、まだそこまらないくらい重量は減っている。バッテリー技術も進展し、重量の軽減に寄与している。近年のバッテリー製品の充実が目覚ましいものがある。短い充電でより長時間使用できるようになり、軽労な作業に貢献している。リチウムイオン電池採用の動噴は8時間の満充電で最低5時間の作業を実現。自然放電が少なく、長時間安定して使つことができる。右手、左手どちらでも噴霧できる、軽い力で操作が行えるなど、ユーザーニーズに応えた製品が多く開発されている。荷物を持ちあげる、運ぶといった農業につきまとい、身体にこたえる作業も様々な機械の登場でずいぶんラクになっている。運搬車についても電動、バッテリー技術が進んでいる。

近年は女性活躍の時代とされている中で、農業分野における女性の活躍も顕著。女性の意見を取り入れた製品開発は活発に行なわれている。女性でも力いらずの始動が可能な農業機械も多く、高齢者含め、力がなくても長時間の使用ができるものが求められている。